

令和8年産 小麦 『ミナミノカオリ』栽培こよみ

【目標】 収量480kg／10a **タンパク含量13.0%** 容積重833g／ℓ フォーリングナンバー300以上 灰分1.75%以下

ポイント

①排水対策の徹底(弾丸暗渠・明渠の施工)
②適期播種(早い播種は黒節病・凍霜害のリスクが高まる)
③赤かび病に弱い品種のため2回防除が必須。
④タンパク含有量を上げる為、実肥は必須。
※滋養病害虫防除からの注意報発令時や降雨が続く場合は3回目の防除必須。

★播種適期は
11月1日～11月10日頃です。

ミナミノカオリの特性
縞萎縮病に強く、収量性は高く安定しており、耐倒伏性は「農林61号」と比べてやや強い。赤かび病にやや弱い。

播種日	出穂日	成熟期	赤かび病耐病性
11/3	4/16	6/4	やや弱

月	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月								
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下									
生育	播種準備			播種期			出芽期			分けつ期						節間伸長期						出穂期			開花期			登熟期			収穫期		

作業内容

<ほ場準備>

排水対策

土づくり資材

除草剤①

耕耘整地

種子消毒

適期播種

基肥

追肥

排水点検

穂肥①

穂肥②

除草剤③

実肥【必須】

① ② ③

赤かび病防除【2回必須+1回】

穂発芽しやすいため、
収穫適期厳守

収穫

水分30%以下が収穫適期
(指の腹で押し潰せ、爪の先で割れる程度)

排水対策

1. 明渠と暗渠の組み合わせによる排水対策を徹底。
2. 額縁明渠の深さは20～30cmに設定する。
3. 弾丸暗渠の深さは20～30cmで施工し、明渠と繋げる。
4. 水尻に繋がる明渠の溝さらえは、定期的に行う。

排水溝の設置例

【注意】
★のところは必ず連結する。

うね肩の仕上げ

排水良好

【良いうね】

水を落とす

水が溜まり過湿となる

【悪いうね】

土づくり

麦の健全な生育のためには土壌pHの値を6.5以上にすることが必要のため、土づくり資材を施用する。

資材名	施肥量(10a)	成分
粒状炭酸苦土石灰	100kg(5袋)	アルカリ55%、Mg15%

播種

1. 種子更新と種子消毒の徹底と適期・適量播種をする。
2. 土が乾いた時に行う。
3. 播種が10日遅れた時は播種量を1kg／10a増やす。
4. 条播(ドリル播)の条間は25cm以下とする。

播種方法	播種量(10a)	播種深(cm)
条播(ドリル播)	8kg	3～4cm
散播(全面全層播)	10～12kg	播種後に5cm混和

※条播時、播種遅れの場合は播種量を最大10kgを目安に増量

施肥体系

(10a当り)

体施肥	基肥	追肥	穂肥①	穂肥②	実肥
播種時		12月下旬	2月中旬	3月上旬	4月下旬
省力施肥	麦パンチ(青) [N35-P2-K5] 50kg				輸入尿素(大粒) [N46-P0-K0] 10～15kg
通常施肥	化成肥料488 [N14-P8-K8] 40kg	化成肥料488 [N14-P8-K8] 20kg	化成肥料488 [N14-P8-K8] 30kg	化成肥料488 [N14-P8-K8] 30kg	輸入尿素(大粒) [N46-P0-K0] 10～15kg

※タンパク含有量を上げる為に実肥の施用は必須となります。
(穂数が多い場合は、実肥を15kg／10a施用して下さい。)

防除薬剤一覧

区分	農薬名	適用病害虫・雑草名	薬量・希釈使用量	使用時期
種子消毒	ベンレートTコート	斑葉病,なまぐさ黒穂病 裸黒穂病,条斑病	乾燥種子重量の0.5%	播種前(種子粉衣)
	キヒゲンR-2フロアブル	なまぐさ黒穂病 紅色雪腐病,サトビ	乾燥種子重量1kg当たり 原液 20ml	播種前(塗抹処理)
除草剤①	ラウンドアップマックスロード	一年生雑草,多年生イネ科雑草	薬量200～500ml/10a 希釈水量(通常散布)50～100L/10a	耕起前または播種前まで
除草剤② 一つ選択	クリアターン細粒剤F	一年生雑草	4～5kg/10a	播種直後(雑草発生前)
	クリアターン乳剤		薬量500～700ml/10a 希釈水量70～100L/10a	播種直後(雑草発生前)
	リベレーターG		4～5kg/10a	播種後～麦2葉期 (雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで)
	リベレーターフロアブル		薬量60～80ml 希釈水量100L/10a	播種後～麦3葉期 (雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで)
除草剤③ どちらか選択	MCPソーダ塩	一年生および多年生広葉雑草	薬量200～300g/10a 希釈水量70～100L/10a	幼穂形成期 但し収穫45日前まで
	ハーモニー75DF	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	薬量5～10g/10a 希釈水量50～100L/10a	麦3葉期～節間伸長前

<赤かび病防除(必須2回+1回)の徹底を!!>

区分	農薬名	適用病害虫・雑草名	薬量・希釈使用量	使用時期	使用回数
赤かび防除	ワークアップ粉剤DL	赤かび病	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
	トップジンM粉剤DL		3～4kg/10a	収穫14日前まで	出穂以降 2回以内

※特に1回目の赤かび防除は必ず適期(開花始期)に行う。

農薬使用上の注意

①この資料に記載された農薬は、2025年8月28日時点での登録内容です。
②農薬の使用にあたっては必ず、手持ちの農薬の容器ラベルを確認してください。
③農薬の使用に関して不明な場合は、必ず使用する前に農薬メーカーやJA等の指導機関へ問い合わせ確認してください。
④農薬取締法により、無登録農薬や使用禁止農薬を使用した場合は違反になります。
また、農薬の使用方法を誤って使用した場合も違反となります。